

桂川町社会福祉協議会だより

2024

No.186

令和6年11月19日(年4回発行)

〈編集・発行〉社会福祉法人 桂川町社会福祉協議会広報部 桂川町大字土居463番地1 いきいきセンター「桂寿苑」内 ☎65-2271・☎65-4555
メール keisen-fukushi@keisen-shakyo.or.jp ホームページ <http://www.keisen-shakyo.or.jp>

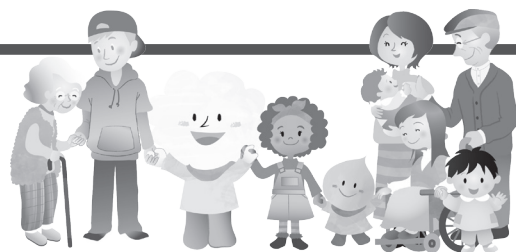
つちやまぜから生まれる共生



イラスト：新 未佳

印刷・製本：今心株式会社 飯塚市横田669番地69後牟田工業団地 ☎22-2888

第40回 福祉のつどいを開催しました!



9月末でしたが、まだまだ気温も高いのに加え、参加者のパワーにより会場は熱気に満ちていました。王塚太鼓、バザーやステージ発表もある従来形式の「福祉のつどい」を5年ぶりに開催しました。令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の影響により中止や形式を変えて開催してきましたが、令和6年度に、実行委員の皆様を中心としたご協力とご支援により復活できました。

久しぶりの開催でしたが、たくさんの施設や団体から飲食販売や体験コーナー、展示コーナーを出していただき、また個人や団体が歌やダンスを披露してくれました。福祉のつどいならではの手話・点字・手作り体験のふれあい体験コーナーも楽しげな笑い声で溢れて

いました。

さらに当日は出店や体験だけではなく準備、片づけ、ゴミの分別などに協力してくれた団体もあり、多くの人に支えてもらい無事に終了できました。

5年ぶりの開催でしたが、中止・延期していた間に地域だけでなく個人・団体の状況も変わった部分があると思います。しかし、地域福祉を推進するなかで、年齢や性別、障がいの有無、国籍にかかわらず、誰もが集い、協力し、楽しめる場は、必要であると再認識できました。参加者だけでなく出店してくれた皆様も充実した時間を共有できたのではないのでしょうか。



ステージ

当日のステージは、ダンス、歌、ギター弾き語り、クイズなど盛りだくさんの内容で、盛り上がりました。学童保育所のみんなの可愛く、カッコいいダンスで笑顔になり、ギターと歌声に聞き惚れる素敵な時間となりました。



バザー

焼きそば、フライドポテト、とれたて野菜、観葉植物などの販売が行われました。1枚100円のチケットを複数枚握りしめ、沢山買い物をしている方、もりもり食べている子など、あっという間に売り切れてしまったお店もあり、大盛況でした。



体験コーナー

手話の会(手話)、手作りの会(手芸)、カトリア会(点訳)が体験コーナーを設けてくれました。子どもたちを中心に多くの方が体験してくれました。今回の体験を通して、社会福祉に興味を持ってもらえればと思います。



ありがとう

地域の福祉、
みんなで参加

赤い羽根
共同募金

10月1日▶12月31日

赤い羽根共同募金

皆様から寄せられた赤い羽根共同募金は、以下のような社会福祉活動に使われます。
あなたの思いやりがみんなの幸せの応援となっています。

高齢者福祉活動

538,000円

- 給食サービス事業
- 風のたより配布事業
- メッセージカードの配布
などの活動のために

給食サービス事業



障がい児・者福祉活動

222,000円

- ふれあいのつどい事業
- 聴覚障がい者支援事業
- 視覚障がい者支援事業
などの活動のために

視覚障がい者との交流



図書ボランティア「布っこ」



福祉育成・援助活動

1,313,600円

- 福祉のつどい(ひまわりフェスタ)事業
- ボランティア団体事業
- うさぎさしクリエーション講座
などの活動のために

令和6年度
桂川町配分額

2,519,600円

今年度はこのような
事業に使用します

在宅介護者の会勉強会



歳末たすけあい

50,000円

●在宅介護者の会支援費

児童・青少年
福祉活動

396,000円

- 福祉協力校指定事業
- 夏休み子ども受入事業
- 布のおもちゃ製作事業
- 託児ボランティア養成講座事業
などの活動のために

夏休み子ども受入事業
(給食サービス配達)



一世帯当たり

700円以上の

募金をお願いします

令和5年度の桂川町募金実績総額は

3,019,666円です

ご協力ありがとうございました

赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございます

10月1日から12月31日の運動期間を周知するために、トライアル桂川店の駐車場と王塚古墳まつり会場で赤い羽根共同募金の啓発及び募金活動を行いました。

10月20日に行われた王塚古墳まつり会場での募金活動では、ボランティア連絡協議会、民生児童委員協議会の方々に加え、個人参加の方々、総勢23名で募金協力を呼びかけました。当日は1回200円以上の募金で、くじが引けるイベント募金を行いました。ゲーム性もあり、子どもたちもたくさん集まってきて、募金ブースがとても盛り上がりました。募金の呼びかけ、募金へご協力いただいた皆様のおかげで、当日は51,355円が集まりました。



赤い羽根共同募金の活動は12月末まで続きます。このお金は私たちが住む桂川町の社会福祉の向上のために必要な事業に使用いたします。

夏休み子ども受け入れ事業

令和6年度も夏休み子ども受け入れ事業を行いました。日常的にはなかなか手話や俳句などを学ぶ機会が少ないと思います。当事業で新たな体験や人とのふれあいを通して、子どもも大人も元気になってもらいます。

給食サービス配達体験に児童2名の参加がありました。民生児童委員さんが作った美味しいお弁当を社協職員と一緒に利用者の自宅へ届ける事業です。当日は13名のお宅にお弁当を配達しました。社協職員が届けた時も「いつもありがとう、美味しいよ」とうれしい言葉をいただいています。今回は特に小学生も一緒ということもあり「ありがとう」だけでなく、「かわいい、うれしい」などの声も聞きました。

ちょっとしたことで、喜んでくれる人がいることを感じてくれればうれしいです。



障害者関係連絡会 研修会

桂川町障がい者関係連絡会が主催する研修会が行われました。「障がい者・高齢者が陥りやすい消費者被害とその対策」について消費者支援機構福岡の穂山(あきやま)先生をお迎えして講演してもらいました。

具体的な消費者被害の事例を取り上げて、説明していただきました。また支援する側の人々が被害者に状況を聞き取る際の注意事項や声かけの仕方などについても詳細にお話がありました。

消費者被害は障がい者・高齢者だけでなく、自分自身にも起こり得ることです。日頃から消費者被害の事例や対応方法などを確認し、被害にあわないような対策が必要です。



スマホ教室を行いました!

昨年実施している高校生デジタル活用相談員による活動を今年度も実施することができました。

スマホ相談が主な相談ですが、昨年度よりも高度な質問が多くなってきたような印象を受けました。SNSの使い方、〇〇payの使い方など相談員も調べながらの対応となりました。一部、解決しきれない部分もありましたが、皆さん不明な点や不安が解消されてスッキリして帰って行かれました。

今回、相談員として活躍してくれた高校生は、9月から通常授業に戻るため、なかなか活動が難しいですが、休暇期間にはまた来てほしいです!

桂川町社協ではデジタル活用相談だけでなく、得意なことを活かしてボランティアをしてもらえるよう中高生が活躍できる場をデザインします。ボランティアをしたい中高生はぜひ桂川町社協へお越しください。





ご利用お待ちしております!



「ほっとスペース」と「男のサロン」 連絡先: 桂川町社会福祉協議会 0948-65-2271

社会福祉協議会では、誰でも気軽に立ち寄れるサロンを開設しています。昨年度までは「ほっとスペース」だけでしたが、男性が集まってワイワイ楽しむ場所として「男のサロン」を今年5月に開設しました。

どちらのサロンも「誰でも気軽に立ち寄れる場所」としてありますので、ぜひお気軽にお越しください。

サロンのなかでは、それぞれが好きな活動をされています。サロンは「〇〇をしなければならない」という場所ではありません。サロンに来て、麻雀を見ているだけでも良いですし、社協職員に「〇〇をし

たい」と提案をしていただければ可能な範囲で対応いたします。



二反田地区で 地域ふれあい手話講習会を実施しました



この講習会では、桂川手話の会が講師を務め、聴覚障がい者の理解と日常生活で使う簡単な手話の学習を行います。

10月9日(水)に実施した講習会には12名の参加があり、手話の学習と聴覚障がい者との交流をしていただきました。

聴覚障がい者とコミュニケーションをとる手段としては、手話だけでなく口話、身振り、表情でも意思疎通は可能です。「手話が分からないから」と戸惑わないためにも挨拶などの簡単な手話だけでも学

んではいかがでしょうか?ぜひ、福祉部出前講座として当講習会をご活用ください。



中屋区 脳トレゲーム



10月6日(日)、中屋区敬老会が開催されました。まずは社協職員2年生となった私の自己紹介です。ホークスのユニホームを着て、私も含め参加者の緊張をほぐします。それから皆さんと楽しく脳トレゲームをしました。『文を繋げ、みんなで楽しく見せ

合おう』というゲームです。新しい公民館に着いた時の不安はいつの間になくなり、会場は笑い溢れる楽しい活動になりました。

地域で講座をおこなったのは、今回が2回目です。優しい皆さんのご協力もあり、落ち着いてゲームを進めることができました。また、皆さんからの「楽しかった」「またお願いします」という言葉が、次の講座に向けてのエネルギーとなりました。

中屋区のみなさん、ありがとうございました。

社協職員 河合 まなか



外国人雇用を始めました



ひなの家では今年から外国人雇用を始め、インドネシアより元気な若者が入社しました。

最初は日本の言葉や生活、仕事に慣れるのに大変でしたが、今では日本人のスタッフと協力してコミュニケーションをとりながら仕事を

しています。先日開催された福祉のついででも会場準備や片づけに外国人スタッフが活躍。社会福祉協議会や出店者のみなさまから「早く終わって助かった」と重宝されました。どの職場でも笑

顔で生き生きと働く姿は、逆に私たち日本人が見習う事も多いです。

そんな一生懸命な姿が、利用者の皆様やスタッフ、地域の皆様からとても好評です。みなさんも街で見かけられたら、ぜひ声をかけてください。

ひなの家 山崎真史

障害福祉サービス事業所 ひなの家

嘉穂郡桂川町大字土師4228-5
☎0948-65-5085・FAX0948-65-5087



安心して居場所を目指して

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）は、認知症のある高齢者が少人数で共同生活を送りながら、日常生活の支援や介護を受ける施設です。

ここでは、家庭的な環境の中で、持っている力を使って生活する事を大切に、過去に経験した家事（料理や掃除、洗濯物たたみなど）を行いながら日常生活を送って頂いています。

四季を感じる事が出来るように旬の食材を使った食事を提供しています。また、新型コロナウイルス感染症がら類に分類されるようになり、



外に出る機会を増やしています。最近では、飯塚の飾り山を鑑賞に行き、大型複合施設を散策しました。日常生活に新たな楽しみや目的が生まれ、生活の質が向上するよう、これからも職員一同で入居者様に安心して暮らせるよう支援してまいります。

管理者 長谷川 宙



お知らせ

2025年(令和7年)カレンダー募集

来年(2025年)のカレンダーを集めています。集めたものは、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯などへ民生児童委員さんにご協力いただき配布しています。

起業や商店などからもらったカレンダーのうち、ご家庭でお使いにならないものがありましたら社協へお持ちください。高齢者世帯への配布が中心になりますので、数字が大きく印刷されているものがあれば、大歓迎です。またカレンダーが必要な方も社協へご相談ください。



「献血」は命をつなぐボランティア

交通事故や病気による手術など血液を必要とする患者さんがたくさんいます。しかし、血液は人工的に作るのが出来ない上、長期保存もできません。皆さんの協力によって、多くの命を救うことができます。命をつなぐボランティア「献血」にご協力をお願いします。

日程 令和7年1月30日(木)

時間 10時～15時30分

(休憩12時30分～13時30分)

場所 総合福祉センター「ひまわりの里」

年齢 男性17歳～69歳、女性18歳～69歳

体重 男女共50kg以上

※初めての方は、本人確認できる証明書(運転免許証・健康保険証・学生証など)をご持参ください。

※血圧の薬を複数服用されている方も献血可能ですが、合併症がなく、血圧が安定している方に限ります。また医師の判断によりご遠慮いただく場合があります。

終活相談会

終活に関すること全般の相談ができます。遺言、相続、遺産、遺品、葬儀、散骨、お墓、死後事務委任など幅広くご相談いただけます。

日時 12月26日、2月27日
10時～12時(40分/人)

場所 いきいきセンター桂寿苑

相談員 終活パートナー九州
代表 眞武 純哉 氏

費用 無料(要予約)



令和6年 社会福祉大会が行われました

本大会では、市町村社会福祉協議会や社会福祉法人・施設、関係団体等が連携・協働し、誰もが安心して暮らせる元気な地域づくりに向け、研鑽するとともに、多年にわたって社会福祉の推進に貢献した団体や個人が表彰されました。

桂川町からは、福岡県共同募金会桂川町支会が表彰されました。今回の表彰はコロナ禍においても募金活動を行い、かつ募金額が増えたことについての表彰でした。一緒に募金活動をしてくれた方だけでなく、募金いただいた住民の皆様のお力添えあつての受賞です。ありがとうございました。



問合せ・申込先 桂川町社会福祉協議会 (いきいきセンター「桂寿苑」内) ☎65-2271 FAX65-4555

ありがとうございます
ありがとうございました

令和6年8月1日～令和6年10月31日

香典返し寄付金

- 第一豆田 倉光 (康隆様(故母) 澄子様)
- 豆田 井上 明子様 (故母) 池隅フク子様
- 弥栄 後藤三千子様(故夫) 岩雄様
- 土師一 佐谷 聖子様(故夫) 禎介様
- 土師一 大塚アメリ子様(故夫) 茂様
- 土師一 下川おひ様 (故母) 武田千香代様
- 土師一 仲村美佐子様(故夫) 智美様
- 土師一 金納 香様
- 土師一 ティー・エム・ロジスティクス(株) 寄付金合計197,000円
- 土師七 原 和人様 (故利用者) 山田宏様
- 土師七 小西 哲 様(故父) 清嗣様
- 土居一 倉智 広幸様(故母)トモ子様
- 土居一 江口 昭平様(故妻) 初江様
- 一般寄付金



公正証書作成に関する相談会

遺言、相続、尊厳死、金銭消費貸借、土地・建物などの賃貸借、協議離婚に伴う財産分与・養育費や慰謝料の支払い、会社設立、任意後見に伴う公正証書の作成について、ご相談いただけます。

日時 1月8日、3月12日 13時30分～16時(30分/人)

場所 いきいきセンター桂寿苑

相談員 飯塚公証役場 公証人 吉田 光宏 氏

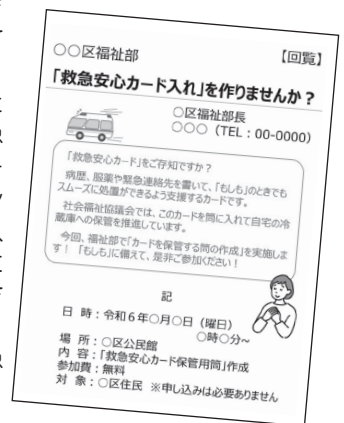
費用 無料(要予約)

救急安心カードを作りませんか?

社会福祉協議会では福祉部活動等での「救急安心カード」づくりを推進しています。

救急安心カードとは、「もしも」のときのために病歴、服用している薬、緊急連絡先などを記載したカードです。カードを持っている目印として救急安心シールを玄関付近に貼り、カードは筒に入れて、冷蔵庫ドアに保管します。これにより、救急隊がスムーズに救急処置ができるよう支援するというものです。

ぜひ、「もしも」のときに備えて「救急安心カード」を作ってみませんか?





いしい やすひろ
石井 保廣さん

プロフィール

◎年齢 88歳
◎お住まい 土師一区
◎趣味
昔は、スポーツと登山。
今はテレビで野球、
サッカー、ラグビー
何でも見ます。

聞き手

荒井 リカ

Q1 住み慣れた自宅を離れ
高齢者住宅に住みかえ
ようと思ったきっかけは？

夫婦二人で生活していたが、妻が体調に自信を持てなくなってきた。今後の事を心配することが増えてきた。それならば、二人で安心して暮らせる場所に移ろうと思いました。

子供たちは遠方におり、車を運転することも心配していたので、高齢者住宅に入ることに賛成してくれました。

Q2 今の高齢者住宅を選んだ
決め手はなんですか？

地域福祉活動で、子供たちを湯の浦キャンプ場に連れ来ることがあり、道中で見かける馴染みの施設でした。いくつかのルールはありますが、譲れないものではなかったです。

Q3 今の暮らしが
どうですか？

最初は自宅のことが気になり、よく家に帰っていたけど、生活にも慣れゆつくりと暮らしています。特にコメがうまい、ベランダから眺める景色も最高です。職員さんがいろいろな催しを考え誘ってくれます。

カラオケや体操、外食、花見学など、夫婦二人では難しかったことも体験させてもらっています。楽しくのんびりやっています。

Q4 人生のモットー

若いころからたくさんの人に助けてもらい、自分は本当に運がよかったです。

残り少ない人生、大いに楽しむことだ！



編集
後記

「災害と日本」

災害列島と呼ばれる日本では、地震だけではなく、異常気象による巨大台風や集中豪雨、河川の氾濫などが頻発しています。

このような中、私たちは災害にどう対応していったらいいのでしょうか。桂川町は小さな町ですが、地域を愛する人々や特色ある施設・さまざまなイベントなど「ひと・もの・こと」は周辺自治体に引けを取りません。

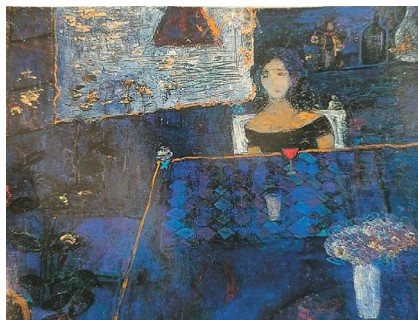
これらの人的、社会的資源のポテンシャルを活かした防災教育によって、こどもから家庭、地域への防災意識を広げ、将来起こるであろうさまざまな災害に対応することができるのではないのでしょうか。

そのためにも、日ごろから住民と行政・関係機関等が

課題や役割を共有し一体となって防災・減災の取り組みを進めていくことが、大切だと思います。

広報部員

瓜生 郁義



絵：川端 一子さん
(赤いカクテル)

マップ作りを
推進しています！



社会福祉協議会では、「支えあいマップ」づくりを推進しています。「支えあいマップ」とは、お住い地域の地図上に関りがある人同士(親戚・友人・サークル仲間など)を線で結びます。誰かと線で繋がっている人もいれば、繋がっていない人も見えてきます。

今年度は内山田地区で「支えあいマップ」を作成してもらいました。住民同士の繋がりに関する情報は参加者の皆さんがお持ちで、情報を共有してもらう手段としての「支えあいマップ」づくりとなりました。

災害が起きた時に連絡が取れない人がいれば、このマップで繋がりを探せます。住民情報が載っている台帳等の公式な情報以外にも、誰と仲良し、よく家に行っているなどの非公式な情報が役に立つ場合もあります。今回共有してもらった情報は、とても有効活用できるのではないのでしょうか。

